

はじめに

ここでは、ToolTipアプリケーションの一覧と、
ToolTipアプリケーションを使用するにあたり必要な設定と手順について記載致します。

目次

1.ToolTipアプリケーション一覧	-----	2
2.インポートの手順	-----	3

その他

各アプリケーションに必要な個別の設定は、アプリケーションのzipファイルに同梱されている別紙をご確認ください。
各アプリケーションは、AgilePoint NX v7.0 SU1 で作成されています。AgilePoint NX 6.0、AgilePoint NX7.0では動作しません。

ToolTipアプリケーション一覧

	ToolTip内容	アプリケーション名	アプリ区分	公開日
1	自動採番	ToolTip_001_AutoNumbering	Standard	2019/8/1
2	REST連携	ToolTip_002_RestService	Standard	2019/8/1
3	AD連携	ToolTip_003_ActiveDirectoryOpe	Standard	2019/8/1
4	入力項目制御	ToolTip_004_DisplayReadWriteConfig	Standard	2019/8/1
5	引戻し	ToolTip_005_PullBackType1,ToolTip_005_PullBackType2	Standard	2019/8/1
6	EXCEL操作	ToolTip_006_ExcelReadWrite	Standard	2019/8/1
7	タスクの同期制御	ToolTip_007_360Degree	Standard	2019/8/1
8	親プロセス制御の回避策	(資料のみ)	Advanced	2019/8/7
9	UI上でのEXCEL読み込み	(資料のみ)	Advanced	2019/8/7
10	UI上でのCSV読み込み	(資料のみ)	Advanced	2019/8/7
11	プロセス更新時に変数を変換	(資料のみ)	Standard	2019/8/7
12	独自追加したボタンのクリック結果をプロセス分岐条件に使用	(資料のみ)	Standard	2019/8/7
13	ループアクティビティ	(資料のみ)	Standard	2019/8/7
14	過去データの再利用(レポートビューの利用)	(資料のみ)	Advanced	2019/8/7
15	連続承認(ワークセンター標準機能)	(資料のみ)	Standard	2019/8/7
16	テキストファイル出力(PowerShell連携)	(資料のみ)	Advanced	2019/8/7
17	イベントサービス(DBInsertトリガ)	(資料のみ)	Standard	2019/8/7
18	過去データの再利用 - Advanced	(資料のみ)	Advanced	2019/8/7
19	イベントサービス(ファイルドロップトリガ)	(資料のみ)	Standard	2019/8/7

アプリ区分について

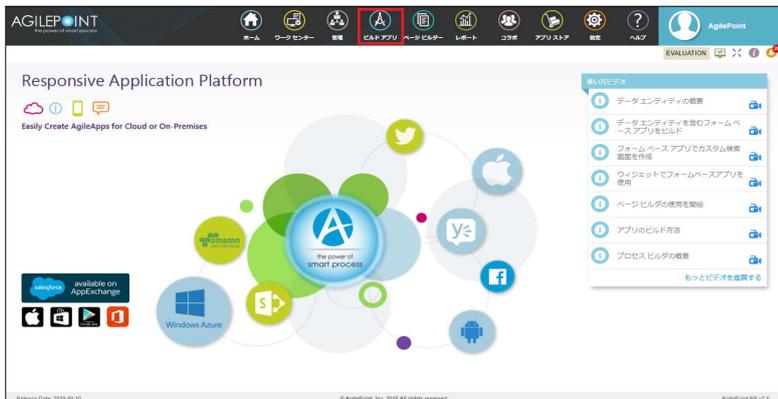
Advancedのアプリケーションサンプルにつきましては、弊社プロフェッショナルサービスのご契約者様に提供致しております。
弊社営業までお問い合わせください。

アプリケーションテンプレートのインポート手順

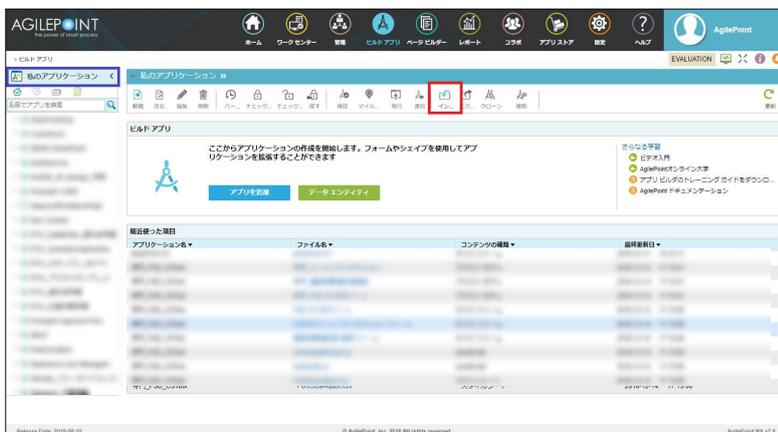
以下手順を実施することで、アプリケーションテンプレートを使用することができます。

【アプリケーションテンプレートをインポート】

1.画面 上部のメニュー->ビルドアプリをクリック



2.インポートをクリック



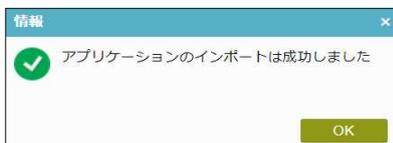
※インポートボタンがクリックできない場合は、既存のアプリケーションが選択されている可能性があるため以下のどちらかを実施

- ・ブラウザを再読み込み
- ・アプリケーションライブラリの上に表示されている、「私のアプリケーション」をクリック（上図の青枠）

3.アプリケーションをインポート画面が表示されたら、「ファイルを選択」をクリックし、インポートするアプリケーションを選択し、OKをクリック（インポートするアプリケーションは、zipファイルの状態を選択）

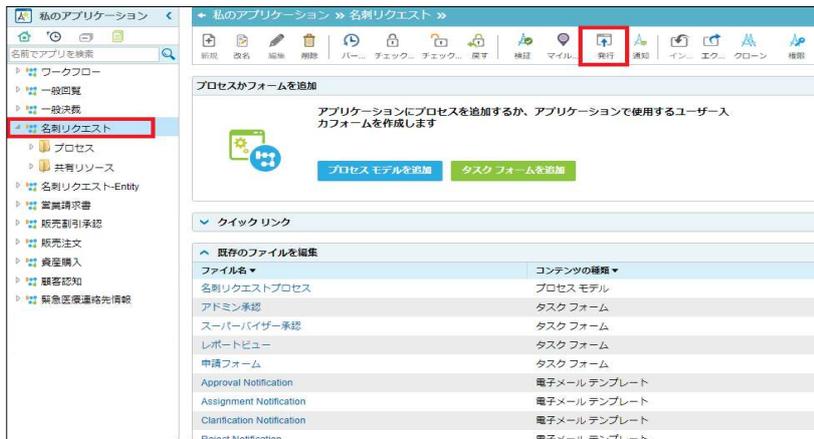


4.インポートに成功すると以下ダイアログが表示され、アプリケーションライブラリにアプリケーションが追加される



【インポートしたアプリケーションを発行】

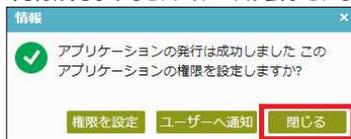
5.アプリケーションライブラリから、インポートしたアプリケーションを選択し、発行ボタンをクリック



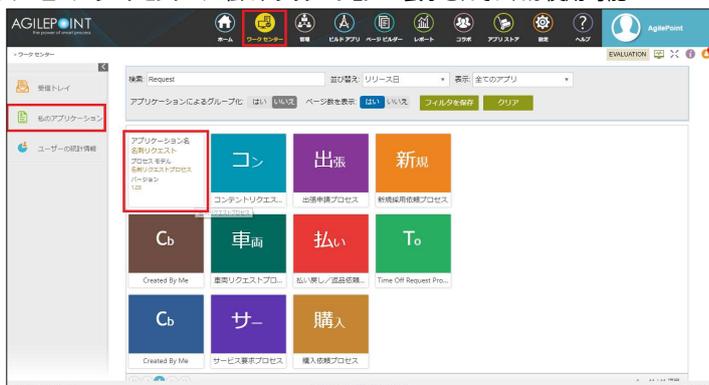
6.発行ボタンをクリック



7.発行が完了すると、ダイアログが表示されるので閉じるをクリック



8.メニュー>ワークセンター>私のアプリケーションへ表示されていれば使用可能



以上